

# 諏訪小だより

令和4年7月20日  
7月特別号  
多摩市立諏訪小学校  
校長 齋藤 幸之介

御礼

校長 齋藤幸之介

6月下旬は、気象庁が観測を始めてから最高レベルの高温が記録されました。グラウンドでの遊びを中止するなど、子供たちには辛い思いもさせましたが、それ以上に子供たちの安全を保障するためには、致し方のない措置でした。

この状況下、すでに御通知を差し上げておりますが、熱中症予防を最優先とした対応に、子供たちも大いに戸惑ったと思います。それでも、少しずつ、何を大切にすべきかを考えながら生活を営む姿に、困難な状況下でもたくましさや少しづつ感じているのは、私の身勝手さでしょうか。

皆様には多大なる御理解と御協力を賜りましたことに御礼を申し上げます。本日を迎えられることに深く感謝をいたします。

一時期減少傾向にあった新型コロナウイルス感染者数も6月から再度増加傾向に転じています。特に最近の急激な変化をしっかりと受け止めなければ、と考えています。

しかし、私共は現在取り得る対策をできるだけ講じながら、可能な限り多様な教育活動を行ってまいりました。時として学校関係者の方々には御面倒をおかけいたしました。この場をお借りして御礼申し上げます。

すでに御説明をしておりますが、今年度はトイレの改修工事に伴って土曜日授業を増やしました。かつては9月1日に行うのが「定番」であった引き取り訓練を4月に行うことができました。万が一に備えた多様な手立てを講じておきたい、という私共の思いに御協力いただきましたことに感謝を申し上げます。すでに前号でも少しお伝えをしましたが、まだ以前のように実施できていない学校公開にも多数御参観いただきました。ありがとうございました。

いくつかの校外学習を実施することができました。低学年は「地域探検」や「公園で遊ぼう」など、普段実際に活用している施設等を改めて調べたり実際に使ってみたりしました。3年生はこのことを踏まえながら、

バリアフリーやユニバーサルデザインを観点として永山駅を中心に調べました。4年生は、環境保全を中核に据えた追究を行うきっかけとして「エコプラザ」にまいりました。今までの経験を生かしながら学年に応じた活動ができました。

6年生は、八ヶ岳移動教室での体験が叶いました。結果オーライ、と表現しなくてもすむように、事前指導を中心に時に厳しく行いながら、実施に至りました。

校内においても、健康診断を始めとする保健行事が確実に行われました。子供たちが自身の健康を様々な点から考える契機になった、と捉えています。

6年生を中心とした「縦割り班活動」では、様々な学年の子供たちが関わりながら活動が行われました。委員会活動・クラブ活動を含め、最高学年の姿を5年生が学んでいます。すでに「次」を見据えた準備が始まっているとも言えましょう。

水泳指導は、NAS永山にて行われました。水の中での活動はどの子にも魅力的で、笑顔で取り組む姿が印象的でした。

外部講師を招いての租税教室（6年生）、水道キャラバン（4年生）も行われました。社会科における子供たちの理解を実感を持ったものとするための一助となりました。

コロナ禍で中止を余儀なくされていた「すわっ子みらい塾」も、地域学校協働本部の方々のお力添えを賜って再開できました。

その他、平素の学習を含めた教育活動が行えました。べた書きになって恐縮ですが、紙面に入りきらないほどの活動ができた、と捉えていただければとも思います。

夏休みには、「わたしの夏のチャレンジ」に御協力いただくなど、皆様には引き続き御尽力いただくこととなりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、8月末の保護者会にてお目にかかりたく存じます。猛暑厳しい中ではありますが、お元気でお過ごしください。